

第1次白石市 地域福祉活動計画

いつまでも安心して共に生きる地域づくり



●地域福祉活動計画とは…

近年、少子高齢化や単身世帯の増加、個人の価値観の多様化などにより、家庭や地域で支え合う機能の弱体化、社会的なつながりの希薄化が進み、地域の活力がなくなり疲弊しつつあります。また、地域社会の変化により、公的サービスだけでは対応できない多様な生活課題が新たに顕在化しています。

これらの課題を解決していくためには、それぞれの地域において互いに助け合い、支え合う住民主体の地域福祉活動を推進していく必要があります。

令和3（2021）年度を初年度とする「第六次白石市総合計画」では、各地域ごとに現状と課題から「まちづくり宣言」を掲げています。この「まちづくり宣言」を基本としつつ、福祉的な観点から住民主体の地域福祉活動を活発にするため、「第1次白石市地域福祉活動計画」を策定します。

令和5年3月

社会福祉法人白石市社会福祉協議会

基本理念

いつまでも安心して共に生きる地域づくり

少子高齢化や人口減少、近隣関係の希薄化や複雑化など、地域においては福祉課題が山積しています。地域の子どもから高齢者の方まで、生涯を通じて安心して暮らせる地域づくりをめざします。

基本目標

基本理念に基づき、目指す姿の実現に向けて、以下の4つの基本目標を設定します。

基本目標1 世代を超えた支え合いづくり

複雑化する様々な課題解決のため、地域のコミュニティ形成と人づくりを進め、地域住民が互いに支え合う地域づくりをめざします。

基本目標2 次世代の後継者づくり

地域福祉の推進のため、後継者の育成に努め、地域で活動する団体の活動を支援し、その活性化を図ります。

基本目標3 専門分野と連携し地域に寄り添ったしくみづくり

必要な各種サービスの提供を受けられるよう、連携強化を図り、併せて、情報提供の充実に努めます。

基本目標4 いつまでも安心して暮らせるまちづくり

地域における福祉ニーズを把握し、安心・安全を地域ぐるみで守る体制の強化に努め、だれもが安心して生活できるまちづくりに努めます。

計画期間

本計画の期間は、令和5（2023）年度から令和7（2025）年度までの3年間とします。なお、社会情勢や地域の状況の変化により、必要に応じて見直しを行うものとします。

計画の位置付け

本計画は、「白石市地域福祉計画」と連携し、地域福祉の推進に向けた取り組みとして、計画的に実践するための具体的な行動計画となるものです。

各地区における地域の福祉課題及び具体的取り組み

本計画を実践するため、各地区毎にインタビュー形式の懇談会を実施しました。各地区毎の福祉課題、基本目標及び具体的取り組みについては次のとおりです。

白石地区

基本目標1 つながりの輪を広げ誰もが気軽に参加できる機会を増やします。

課題 「日常生活・つながり・交流に対する課題」 (例) コミュニケーションの希薄化、茶話会の減少 など

【具体的取り組み】

現在の取り組み

- 自治会行事、地域の集いの場
- 防犯、交通安全（見守り活動）
- 地域の美化、緑化活動 など

今後必要な取り組み

- 自治会と連携したイベントを実施し地域住民同士のつながりを広げる
- 既存活動の充実・発展、誰もが参加できる多様な居場所づくりの促進
- 地域住民や関係機関が参加し地域課題の把握や共有、解決に向けて意見交換ができる場を設ける

基本目標2 適切な支援につなぐことができる環境をつくります。

課題 「多世代：子ども～高齢者・要支援者が抱える課題」 (例) 複合的課題（8050問題やダブルケアなど）や高齢化社会への不安 など

【具体的取り組み】

現在の取り組み

- 自治会、民生委員・児童委員による見守り訪問活動
- 専門職や関係機関との連携やつなぎ役 など

今後必要な取り組み

- 近隣住民の見守り・支え合いを行うために、顔の見える関係づくりに向けて「あいさつ」や「声かけ」を行う
- 地域共生世代間懇談会の立ち上げ
- 必要な人に必要な情報が伝わる仕組みづくり など

基本目標3 安心して暮らせるよう地域ぐるみで防災意識を高めます。

課題 「災害時の対応について」 (例) 災害時の避難や支援方法 など

【具体的取り組み】

現在の取り組み

- 災害時の安否確認
- 市総合防災訓練、避難訓練
- 自主防災活動 など

今後必要な取り組み

- 自治会や地域住民同士の連携による防災活動の実施
- 避難行動要支援者の把握と支援方法について検討する機会を設ける
- 防災知識の普及啓発、ハザードマップを活用して危険な場所や避難場所を把握し共有

越河地区

基本目標1 10年先も自分達が安心して過ごせる地域をつくります。

課題 「高齢化に伴う日常的な支援について」 (例) 買い物や通院が大変、ゴミ出しが大変 など

【具体的取り組み】

現在の取り組み

- 自治会、民生委員・児童委員の活動
- ご近所同士の助け合い
- 勉強会の開催

今後必要な取り組み

- 地域の支えの仕組みの勉強会や地域での話し合い
- 複合的な福祉課題の情報共有や勉強会

基本目標2 世代を超えてみんなで支え合う地域をつくります。

課題 「地域（住民）のつながりについて」 (例) 近所付き合いが少ない、地域の共同作業が困難 など

【具体的取り組み】

現在の取り組み

- 地域の行事や各種団体の活動
- 地域の魅力を広げる活動
- 子ども達の居場所づくり

今後必要な取り組み

- 住民主体で地域活動の計画の立案
- 地域住民同士が支え合い、見守りの活動
- 異なる世代の交流や活動の実施

基本目標3 安全に暮らしていける自然豊かな地域を守っていきます。

課題 「防犯・防災、自然災害について」 (例) 災害時の避難・対応が困難 など

【具体的取り組み】

現在の取り組み

- 各地区での情報共有・防災対策
- 地域住民同士の災害時の安否確認
- 各種団体による遊休地の活用

今後必要な取り組み

- 地区自主防災組織の活性化、住民への情報提供や勉強会
- 地域住民の日常的な見守りや声掛け
- 遊休地の活用を広げる

齋川地区

基本目標1 隣近所での支え合いと若者・中堅世代で支えていきます。

課題 「買い物及び交通の課題」 (例) バスの停留所まで出てくるのが大変 など

【具体的取り組み】

現在の取り組み

- 自治会、民生委員・児童委員及び主任児童委員による活動
- 齋川地区第2層生活支援コーディネーターによる活動
- 齋川公民館の支援 など

今後必要な取り組み

- 課題解決や住民が必要とするテーマの学習会の充実
- 住民が必要とする情報の発信をしていく
- 行政、事業者、地域が連携した取り組みの推進

基本目標2 地域のさまざまな課題に対し主体的に行動します。

課題 「複合的な課題 (主に8050問題)」 (例) 高齢者と子どもの引きこもりの問題

【具体的取り組み】

現在の取り組み

- 自治会、民生委員・児童委員及び主任児童委員による見守り
- 齋川地区第2層生活支援コーディネーターによる見守り

今後必要な取り組み

- 自治会、民生委員・児童委員及び主任児童委員による見守り活動の継続
- 地域課題の現状を共有する場をもうける
- 専門機関との連携及び情報提供

基本目標3 次世代が住み続けたいと思う環境を維持します。

課題 「子育てに関する課題」 (例) 白石第二小学校と統合後、地域内の子どもがわからなくなった など

【具体的取り組み】

現在の取り組み

- 民生委員・児童委員及び主任児童委員による見守り活動やキッズオリンピックの開催
- 齋川地区第2層生活支援コーディネーターによる活動
- わかば会、放課後子ども教室による活動 など

今後必要な取り組み

- わかば会、放課後子ども教室による活動の継続
- 保護者や子どもが気軽に集い・交流できる機会をつくる
- 学校と地域の連携を深めていく

大平地区

基本目標1 地域で安心して暮らし続けるための基盤をつくります。

課題 「地域のつながり・見守りに対する課題」 (例) 世代間交流や近所付き合いの希薄化、地域での孤立 など

【具体的取り組み】

現在の取り組み

- ご近所の声かけや支え合い
- よってがい (オレンジカフェ)
- 公民館での講座
- 各地区集会所での集い
- 地区民運動会、文化祭
- 伝統行事の継承 など

今後必要な取り組み

- 常日頃隣近所とのつながりの強化
- 小さな拠点 (集会所など) を活用し、誰もが気軽に集える機会をつくる
- 今後の地域福祉について多世代で話し合える場を設ける「未来サークル」
- 必要な情報の提供、地域福祉について学ぶ機会や地域課題について話し合う現役世代を交えての地域づくり会議
- 男性を対象とした教室や親子で参加できるイベントを検討し開催

基本目標2 災害に備え日頃から地域とのつながりを築きます。

課題 「災害時の見守り・協力的体制について」 (例) 災害時の安全確保や互助機能の希薄化 など

【具体的取り組み】

現在の取り組み

- 自主防災活動の活性化
- 婦人防火クラブ
- 防災訓練

今後必要な取り組み

- 地域で開催する防災訓練への参加
- 災害時に備え、日頃の見守りや声かけを通じた「顔の見える関係」づくりの促進
- 避難行動要支援者の把握と共有

大鷹沢地区

基本目標1 地域の魅力や資源を活かし、交流の輪を広げます。

課題 「地域運営、地域の活性化に関する課題」 (例) 地域全体で集える行事や世代間交流の場がない など

【具体的取り組み】

現在の取り組み

- 「大町神楽」などによる交流
- ゲートボール親善試合
- 各団体での環境保全活動 など

今後必要な取り組み

- 各地区の若者同士の交流、グラウンドゴルフ場などの資源を活用した交流の検討
- 各団体が情報共有し横のつながりをつくる
- 小学校等、地区内の環境保全の為に体制を地域で構築する など

基本目標2 災害の経験を継承し災害に強いまちづくりをします。

課題 「地域の関わりや災害時などの情報把握の課題」 (例) 近所同士の関わりが希薄になってきている など

【具体的取り組み】

現在の取り組み

- 地区防災訓練の実施
- 消防団の災害時安否確認活動 など

今後必要な取り組み

- 大鷹沢独自の災害マップ作りの機会を設ける
- 隣近所や小さい範囲での交流を積極的に行い、支援が必要な人の把握に努め、見える化する など

基本目標3 子どもから高齢者までが一緒に学び合い、顔の見える関係づくりをします。

課題 「少子高齢化に伴うつながりの課題」 (例) 子育て世代と交流出来る活動がない など

【具体的取り組み】

現在の取り組み

- 配食サービス活動
- 放課後見守り運動
- お茶のみ会 など

今後必要な取り組み

- 見守り活動の継続と充実
- 子育て世代と地域との顔の見える関係づくりを行う
- 児童を含めたイベントの企画を行う など

白川地区

基本目標1 人と人のつながりを深め、助け合う白川をつくります。

課題 「高齢化による日常生活などの不安」 (例) ゴミ出しや買い物が大変、話し相手がない など

【具体的取り組み】

現在の取り組み

- 自治会、民生委員・児童委員による活動
- 自主防災組織で災害時の個別計画の作成
- 支援が必要な人への訪問・相談の対応

今後必要な取り組み

- 各地区での自主防災組織で個別計画作成
- 地域でのボランティア活動などの組織づくりの検討
- 地域の集まりの中での顔の見える関係づくりの構築

基本目標2 地域で支えあい、みんなが住みやすい白川をつくります。

課題 「地域の活動や地域との繋がり」 (例) 地域活動の参加が困難、子どもたちの遊び場がない など

【具体的取り組み】

現在の取り組み

- 地域の行事や各種団体の活動の実施
- 学校を通して児童と地域住民の交流活動
- 旧白川中学校での活動の場の提供

今後必要な取り組み

- みんなが参加しやすい地域の行事や活動の仕組みづくり
- 地域の子どもの居場所づくりや若い世代活動の場の提供
- 地域の子供達に白川の魅力を伝える活動

基本目標3 世代を超えて人との関わりを持ち、若い世代に伝えていきます。

課題 「次世代への後継問題」 (例) 地域の活動への担い手不足 など

【具体的取り組み】

現在の取り組み

- 消防団や婦人防火クラブなどの活動
- 自治会の班の活動

今後必要な取り組み

- 地域活動の役職や役割を引き継ぐための組織化やシステムづくりを構築

福岡地区

基本目標1 各地区の特色ある活動が営まれ続ける地域にします。

課題 「ゴミ出しや自治会での活動」 (例) ゴミを出すのが大変、自治会活動で特定の人しか参加しない など

【具体的取り組み】

現在の取り組み

- 民生委員・児童委員、自治会の見守り訪問活動の活動
- ふれあいサロン活動
- 自主活動グループ活動の継続

今後必要な取り組み

- 民生委員・児童委員の訪問活動の継続
- 住民同士による見守り、声かけ
- 自主活動グループ活動の継続

基本目標2 住民同士互いに支え合い、安心して暮らせる地域にします。

課題 「買い物及び交通の課題」 (例) 買い物・通院が大変 など

【具体的取り組み】

現在の取り組み

- 民生委員・児童委員、自治会の見守り訪問活動の活動
- ふれあいサロン活動
- 地域内交通安全・防犯防災活動

今後必要な取り組み

- 住民同士支え合いの活動の啓発

基本目標3 世代間交流を進め、あいさつ運動を推進し、だれでも地域活動に参画しやすい環境をつくります。

課題 「世代間の交流」 (例) 話し相手 など

【具体的取り組み】

現在の取り組み

- 公民館による行事
- 民生委員・児童委員、自治会の見守り訪問活動の活動
- ふれあいサロン活動

今後必要な取り組み

- 住民同士の支え合い
- ふれあいサロン活動の継続
- 個々が自ら行動する環境づくりの実施 など

深谷地区

基本目標1 コミュニケーションの輪を広げます。

課題 「地区民・世代間交流、担い手不足に関する課題」 (例) どの活動もメンバーが固定化している など

【具体的取り組み】

現在の取り組み

- 地区民合同運動会
- 各地区サロン交流会
- 放課後児童クラブ など

今後必要な取り組み

- 公民館を拠点とした世代間交流できるイベントの実施
- 若い世代が積極的に意見し参加していける活動の実施 など

基本目標2 支え合いの絆を育みます。

課題 「支援を必要とする方、地域の高齢化の課題」 (例) 子どもの数が少なく次に支える人がいない など

【具体的取り組み】

現在の取り組み

- オレンジカフェ（認知症カフェ）の開催
- 各地集会所での百歳体操
- 手作りお弁当の提供 など

今後必要な取り組み

- 福祉を学び、地域の困りごとに気づく力を高める
- 高齢者など、支援が必要な方への見守り活動の継続 など

基本目標3 災害等に備えた交流やつながりづくりをします。

課題 「災害時などの見守り体制に関する課題」 (例) 配慮や支援が必要な方の情報が得られない など

【具体的取り組み】

現在の取り組み

- 自主防災組織
- 婦人防火クラブ
- 地区防災訓練の実施 など

今後必要な取り組み

- 災害時の行動を全地区で確認する機会を設ける
- 要支援者などの情報の把握方法を検討する など

基本目標1 つながりの輪を広げます。

課題 「地区民・世代間交流の不足に関する課題」 (例) 地区同士の関わりが希薄 など

【具体的取り組み】

現在の
取り組み

- 小原地区活性化推進協議会
- 文化祭などの公民館行事
- 出張ふれあいサロン など

今後必要な
取り組み

- 保護者も参加しやすい行事を開催し、学校との交流を深める
- 他地区から通学している保護者との交流の機会を設ける
- 助け合いの心が育まれる様なサロン活動の実施 など

基本目標2 地域の暮らしを支え合う仕組みをつくります。

課題 「高齢者の生活の不安についての課題」 (例) 山間地のため移動や日常の買い物も大変 など

【具体的取り組み】

現在の
取り組み

- 小原未来塾 (地域の課題解決)
- 小原地区振興会 (持続可能なまちづくりの推進) など

今後必要な
取り組み

- 有償ボランティアなどの仕組みを作り運営する
- 身近な困りごとについてアンケートをとり「困りごと解決先リスト」を作成する
- 取り組みについて公民館だよりなどで広報する

基本目標3 福祉を学び合い助け合いの意識を高めます。

課題 「見守りが必要な家庭の把握に関する課題」 (例) 助けたいと思っても対応が分からない など

【具体的取り組み】

現在の
取り組み

- 民生委員・児童委員の訪問活動
- 近所同士の見守りや声掛け など

今後必要な
取り組み

- 専門職や社会福祉協議会、地域住民が集まって、定期的に福祉課題や解決の経過等について話し合える会をつくり運営する





第1次白石市地域福祉活動計画（概要版）

発行年月：令和5年3月

発行：社会福祉法人白石市社会福祉協議会

〒989-0231 宮城県白石市福岡蔵本字茶園 62-1

電話：0224-22-5210 FAX：0224-22-1571